

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 藍住町立藍住南小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒771-1202

徳島県板野郡藍住町奥野字和田95

E-mail ainan@ma.pikara.ne.jp

Website

<http://e-school.e-tokushima.or.jp/aizumi/es/aizumiminami/html/htdocs/>

幼児児童生徒数 男子 312名 女子 283名 合計 595名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「伝統文化の体験と継承・環境学習」を活動テーマとして、ESDの実践を通して、次の点を目標とした。

- 体験を通して伝統文化の価値について考え、伝統を守ってきた人々の思いに触れ、それを育んできたふるさとへの誇りと愛情を育てる。
- 地球規模の環境保全に関して関心を深め、その重要性を理解し、自ら関わろうとする意欲や実践力の基礎を育てる。
- 上記の取り組みについて他地域の児童や人々に発信し、これらに関する自分なりの認識や価値観を形成しながら、豊かなコミュニケーション力を育てる。

具体的には、下記の活動を行った。

① 伝統文化の体験と継承

○地域に伝わる伝統工芸である藍染めについて総合学習の核として取り組み、蓼藍のサンプル栽培、藍建て、藍染めなどの体験に取り組む。

○郷土の伝統文化である阿波踊りに鳴り物を含めて取り組む。(5年、6年)

② 環境学習

○ペットボトルキャップおよびプルトップを収集し、子どもの医療の困難な

地域へのワクチン供与に協力する。

○エコロジーの観点から電力や水の消費に関心を持ち、校内での電力や水の消費量の調査と広報に取り組む。

① 伝統文化の体験と継承

藍染め

[第3学年]

- ・ 社会科・総合的学習を中心とする地域学習での校区理解
- ・ 初歩的な藍染め体験(ハンカチの絞り染め)

[第4学年]

- ・ 社会科・総合的学習を中心とする地域学習での藍染めの歴史の学習
- ・ 藍染めの体験(ハンカチの絞り染め)



藍の館(藍住町 藍染め体験館)で、身近な道具を使った簡単なしぼり染めを体験した。

[第5学年]

- ・ 藍建てと藍液の保全作業
- ・ バンダナの染め体験
- ・ 藍染めの調べ活動による知識深化
- ・ 阿波踊りの修得(踊りと鳴り物)



藍建てを初めて体験し、藍の世話を継続して、藍染めに取り組んだ。



和紙を染めて、阿波踊りのうちわを作る。



6年生にTシャツの染め方を教えてもらいオリジナルTシャツを作成する。

[第6学年]

- ・ 5学年までに身につけた藍染めの様々な技法を活かした作品づくり



藍の生葉を使ったたたき染めをし、その後藍染めをした。



藍染めをした箸袋を作り、お弁当の日に使っている。

・「藍の館」でのボランティア

毎年お盆に校区内の藍染め体験館「藍の館」で染めのお手伝いや、館内の案内等のボランティアをしている。ボランティアをするには、藍の館についてよく知っておかなければならないので、「藍の館マスターになろう」という活動をし、藍の館を見学して自分で詳しく説明できるようにした。

夏休みには、4日間でたくさんの児童が5年生の時に自分で染めたTシャツを着て参加した。



・独居老人訪問も藍染めのハンカチをプレゼント

・藍染めの表紙の卒業文集を制作したり、藍染めの卒業共同制作をしたりした。



・藍染めのコサージュを手作りし、卒業式に親子でつけて参加

地域の伝統である「藍」を、歴史・自然・文化など様々な面から捉え、アプローチしていく活動を通して、多面的、総合的に考える力やコミュニケーションを行う力を養い、つながりを尊重する態度や他者と協力する態度を育てることを目指した。本校の高学年の児童は、プレゼントや作品などを作る際には「藍」を使ったものを考えるほど、日常の中で「藍」との関りが深く、「藍」を身近に感じている。このことは、ESDの考え方につながると思われる。

阿波踊り

5・6年生児童全員が運動会で阿波踊りに取り組んだ。阿波踊りの起源について学習した後、「AWA DANCE クラブ」が中心になり鳴り物を担当し、練習を重ねて、運動会当日、自分で作った藍染めのバンダナとうちわを持って踊った。



徳島県の伝統である阿波踊りは、県民全員が踊れるわけでない。まして鳴り物を体験した県民となると、非常に少なくなる。このことから、踊りや鳴り物を体験できる取り組みは、伝統文化を継承し、未来へつないでいく活動であると思う。

②環境学習

環境委員会がペットボトルキャップおよびプルトップの収集を呼びかけ、学校の電力と水の消費量の推移の調査をし、省電力の啓発活動をした。



③発信（ボンジュール・プロジェクト）

藍住南小学校で自分たちが取り組んでいることを世界へ発信できないかと考え、卒業生のSさんに協力をお願いして、フランスと交流する取り組みを平成25年度より継続してきた。藍染め作品や習字作品、折り紙や自己紹介カードやクリスマスカードなどを送ったり、写真やプレゼントが送られてきたりという交流であったが、3月にテレビ電話で直接話をする交流ができた。フランスからは作品の紹介や歌の披露があり、こちらからは藍染めの説明と阿波踊りを披露した。リア

ルタイムでお互いの情報交換ができた。児童は遠いフランスを身近に感じ、異文化に少し触れることができた。また、先輩の活躍を目の当たりにすることができ、良いモデルとすることができた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

校区地図（日本地理院版藍住町全図）
 藍染めの諸用具および説明図
 藍染めに関する歴史資料（「藍の館」所蔵のもの他）
 篠笛，和太鼓，法被等
 ユネスコ HP Skype

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

藍染めについては、5・6年生の総合的な学習の時間に位置付けた。5年生は「I 愛 藍 知ろう ふるさとの宝 ～藍染め～」をテーマに、6年生は「自分の生き方を見つめよう」をテーマに1年を通して活動した。
阿波踊りについては、練習を体育の時間に、鳴り物はクラブ活動に位置付け、運動会（学校行事）で披露した。
環境学習については、環境委員会の活動として委員会活動に位置付けた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

藍染め用具が学校にあり、阿波踊りの鳴り物も、備品として保管している。どれもすぐに使用できるので、継続的に取り組める。
藍染めも阿波踊りもゲストティーチャーを迎え、より本格的な指導が受けられるように工夫している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

① 評価の観点

学校独自の観点「見つめる力」「とらえる力」「見通す力」「追求する力」「かかわる力」「伝える力」の6つの観点から学年ごとに学年ごと、年度ごとの重点観点を決めて評価する。

② 評価方法

○総合的な学習用のポートフォリオから作文や作品、ワークシートなどによって児童の学習状況を把握する。

○環境委員会の広報活動を、担当教諭の観察や掲示板の内容や表現物によって活動状況を把握する。

③ 評価の活用

○評価内容を学級の総合的な学習の時間や委員会活動の時間の指導に活かし、子どもにフィードバックする。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

発信については、本校のホームページに活動があるたびに載せ公開している。また、フランスとの交流を継続して行い、今年度は Skype を使ってフランスとテレビ電話で交流し本校の紹介を行った。

リアルタイムで交流できたことにより、遠く離れた国を近く感じることができ、フランスにより興味を持つことができた。さらに、本校が取り組んでいる伝統文化に誇りをもつことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

藍染めについては、藍住町教育委員会より「特色ある藍住教育」として、薬や消耗品購入の予算がついている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

本校の卒業生の協力で、ユネスコスクールではないが、フランスの小学校と交流している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)

※チェック事項 2-5 に対応

ボンジュール・プロジェクトで、藍染めや阿波踊りでの活動を発信したり、フランスの学校の様子や国の特色に関心を持ったりする活動は、児童にとって非常に効果的であった。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

平成30年度も、29年度と同様、伝統文化の体験と継承・環境学習を中心に取り組み、ボンジュール・プロジェクトで発信することを計画している。